

自然情報は「BOOK 愛ランド礼文」にあります。

E-mail: rebuncle@lilac.ocn.ne.jp

# レブングル自然情報

カラーで自然情報を「礼文島のHP [http://www.h3.dion.ne.jp/ishida\\_h/index.htm](http://www.h3.dion.ne.jp/ishida_h/index.htm)」  
「ゆうひの丘のHP <http://homepage1.nifty.com/seikanso/>」

## 秋風の中で散策を楽しむ

9月20日、雷雨と共に雹が降りました。一気に冷え込んだ翌朝、利尻山には雪化粧が見られました。花も終わりですねと聞かれるこの時期ですが草原では今を盛りと咲き出す花々もあります。青紫色の花はエゾリンドウ（エゾオヤマノリンドウ）、薄紫色はノコンギク、赤紫のレプトウヒレン、クリーム色の花はチシマアサギリソウとレブンイワレンゲなどです。この他にも盛りは過ぎましたが、草紅葉の中に名残の花も見かけます。礼文岳登山道にはツルリンドウが薄紫色の花と赤い実を一緒に付けているのも見られます。

9月6日に登山道ではハイマツの実を食べるシマリスやホシガラスの姿が間近に見られました。礼文島の紅葉は大雪山などに比べるとたいしたことはありませんが、森にはナナカマドやイタヤカエデ、ハリキリなど紅葉する樹やミヤマガマズミ、マユミ、オオツリバナなど赤い実がなる樹もあります。ただし一番美しい紅葉はツタウルシですから、葉に触る時には注意が必要です。上着を一枚増やして、紅葉や赤い実、その中に咲く花々やキノコ、森の鳥や生き物達を観察しましょう。



エゾリンドウ・蝦夷竜胆 2000.9.14.

花の色は青紫～薄紫。香深井から宇遠内の道筋、久種湖の湿地などで咲く。礼文島のは、花が上部に集まっているのでエゾオヤマノリンドウと呼ばれることもある。リンドウの仲間としてフデリンドウ、チシマリンドウ、ハナイカリ、ツルリンドウ、ホソバノツルリンドウがあり、近い仲間としてミツガシワも咲く。利尻山にはリシリリンドウも咲き、チシマセンブリの記録もある。

## キノコの観察会 ・参加費無料

9月28日（金）9時～12時

キノコの佐藤清吉先生と森を歩いてキノコの名前や食毒を調べます。採ったキノコは食べます。

飲み物、おにぎり等は各自持参。鍋の準備があるので参加者は事前にレブングルに連絡して下さい。

共催：環境省稚内自然保護官事務所/  
礼文町 / レブングル自然館



## 中秋の名月・10月1日（月）

今年の十五夜は晴れる？香深郵便局の野田頭さんが午後6時から観望会を予定しています。詳しくは 6-1760

10月6日（土）9時～13時

やませの森から

・2001年・秋植樹

礼文島の里山作りに参加しませんか？自分で植えた木が毎年、育っていく様子を見ることで森作りの難しさ、自然の大切さが見えてきます。参加希望者は前日までに

礼文島自然クラブ

・宮本 6-1089

・鹿川 7-3054

- ・9月2日の交通安全駅伝で、やませの森チームは6位に入賞しました。ご声援ありがとうございました。
- ・9月15日には秋植樹の準備を行いました。

今咲いている花：アサギリソウ、イブキジャコウソウ、ウメバチソウ、エゾカワラナデシコ、エゾコゴメグサ、エゾゴマナ、エゾノコギリソウ、エゾミソハギ、エゾリンドウ、カラフトニンジン、キタノコギリソウ、クサレダマコガネギク、シオガマギク、シコタンヨモギ、チシマリンドウ、チシマワレモコウ、ツルリンドウ、トウゲブキ、ナギナタコウジュ、ハナイカリ、ヤナギタンポポ、ヤマハハコ、リシリブシ、レブンイワレンゲ、レプトウヒレン。

けがした鳥、死んだ鳥、けがした動物、死んだ動物、見つけたら連絡して下さい。

電話6-1089 宮本

## たかがカモメ、されどカモメ

秋風が吹き始めオオセグロカモメの雛が巣立つ頃になると、自動車道の周りを危うげにうろろする茶色のカモメを見かけます。今年も成鳥も含め傷ついたカモメを多く見られました。大風が吹いた後でもあり、毎年のものであるのですが、我が家にも数件の保護依頼の電話がありましたが、大型で大食漢のカモメの保護は頭の痛い問題です。9月4日、翼の折れたカモメを保護して欲しいと、大阪から来られた観光客の方が役場を訪れました。建設課の北野さん、ホテル礼文の久保さんがなんとか捕獲し、レブンクルの宮本が連れ帰りました。オオセグロカモメは近くで見るとかなり大きく、私はこわごわ箱をのぞきました。この鳥は人間の接近を拒否した鋭い目をしていました。でも与えた餌はよく食べて体力は衰えていないようです。宮本が折れた翼を切り落とし、二日ほど餌を与えて元地の海に放しました。浜からいつものように飛び立とうとしますが飛べません、岩に登り飛び降りますが片翼で墜落、自分がもう飛べない事にやっと気づいたのかトコトコと歩いて海に入り波に浮かびました。青い海にポツリと白いカモメが美しく、双眼鏡で眺めながら夫も私も「これでいいのだ」と自分に言い聞かせました。数日後海岸に打ち上げられたこの鳥の死骸を発見しました。もう何かに内臓を食われていました。残酷な風景ではありましたが、あの鳥の命は次の命に受け継がれたのだと思います。

大阪の方から丁寧なお手紙が届きました。中島町長あてにカモメ保護の陳情書と寄付金を送ったこと。獣医師会に働きかけて保護活動をして欲しいことなどが書かれてありました。でもその方法論は都会のものをそのまま当てはめようとしたもので、違和感を感じます。礼文の場合カモメは人間の数より多く生息し、雑食で海のお掃除屋さんの役目を果たしています。餌が豊富なため数を増やす傾向にもあります。お隣の利尻島ではウミネコの繁殖地近くの人家は糞害に悩まされ、駆除もおこなわれました。でも人間との共生を探るため3年ほど前からその生態の研究もさかんに行われています。またフェリーの甲板からウミネコにエビセンを与える観光客、とても楽しそうで水を挿すのは気がひけるのですが、ウミネコの健康に害があるので禁止の方向で検討されています。身近にたくさん居るカモメたちだから人間との係わりの中でいるんな問題がもちあがります。野生動物の保護には単純な正解はなく、その地域の環境によって変わってくるものと考えます。今のところレブンクルでは行政に働きかけて傷ついたカモメの保護に乗り出す気はありません。捕獲して届けてくだされば、できるだけ治療して自然に帰す、それでいいと思います。そんなかわりの中からより深くカモメたちの生態を見つめ、よりよい人との共生環境を探っていこうと思います。でも旅人達の指摘は私たちの日常に放たれる辛辣な矢です。心に痛い指摘も多いのですが、前向きに議論することを心がけたいと思います。大阪の方、ありがとうございました。

杉田美野里

8月の鳥：アオサギ、アオバト、アマツバメ、イソシギ、ウソ、ウグイス、エゾセンニュウ、オオジシギ？、カワラヒワ、キアシシギ、キジバト、キセキレイ、キョウジョウシギ、クサシギ、クマガラ、コマドリ、シマセンニュウ、ノゴマ、ハクセキレイ、ハヤブサ、ヒガラ、ビンズイ、ベニマシコ、ルリビタキ。

## 2001年8月自然日誌

1日曇17.1度。利尻みえた。2日曇19.3度。晩雨。  
3日曇り雨20.9度。晩雨。4日晴れ。利尻クッキリ。  
5日晴れ24.5度。カワセミ保護・礼宝苑上田-9日没。  
6日快晴25.5度。香深昆布漁。  
コエゾゼミが鳴いた。金田岬ゴマフアザラシ56頭  
7日晴れ曇26.3度。昆布漁。  
8日晴れ26.0度。利尻クッキリ。  
9日朝焼け綺麗なち雨。18.5度。  
10日曇晴れ18.7度。海峡祭り花火。  
ウスバキトンボが大量に渡ってきた。  
11日晴れ22.7~17.8度。ウニ、昆布漁。星空綺麗。  
12日快晴25度以上。ウニ昆布漁。利尻クッキリ。  
礼文林道ゴマフアブ多数、ミヤマハンミョウ。  
宇遠内コエゾゼミ、エゾチツゼミ。星空綺麗。  
13日快晴25度利尻美。14日晴れ24.5度利尻美。  
15日晴れ23.5度。晩星綺麗。久種湖アオバト。  
金田岬：ゴマフアザラシ73頭。  
16日雨のち晴れ22.7度晩星綺麗。やませの森草刈  
カラフトマス内路で釣れた-道場。  
17日晴強風17.3度。利尻美。18日晴25度。利尻美  
19日晴れ25度。ウニ漁。利尻クッキリ。星空綺麗。  
コウモリ調査入舟-桃岩トンネルで反応あり。  
20日晴れ強風。20.5~22.1度。利尻クッキリ。  
金田岬アザラシ、キアシシギ、イソシギ2。  
21日晴れ曇24.3度。利尻みえた。晩星綺麗。  
P V礼文岳クリーン登山。  
22日雨19.7度。台風11号接近。  
23日雨晴れ23.5度。フェリー1便で欠航。  
24日曇り晴れ23.5度。  
25日晴れ28.3度。レブンクル77発行。  
26日晴れ23.1。召国散策。  
27日曇東の強風17.5度。  
金田岬ゴマフアザラシ20頭。桃展リシリブシ。  
28日曇雨17.1度。  
29日晴れ14.7度。香深井アサギマダラ。  
30日曇雨18.4度。  
31日晴れ26.0度。アキアジ釣れた-道場。



ワシカモメ鷲鷗・1999.10.16. 高山